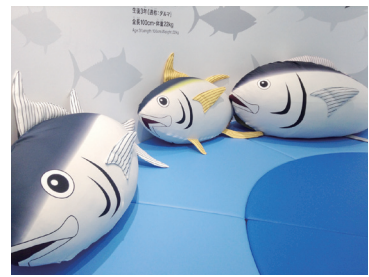


※価格は商品1点の総額(本体価格+消費税)

◆塩竈市魚市場 おさかなミュージアム



魚市場南棟の2階に、今年3月にオープンした体験型の展示スペース。主力のマグロを中心に、

塩釜の水産業や水産加工業、魚食の魅力を二つのコーナーで紹介している。マグロの原寸大ぬいぐるみ(写真)や各部位の名称と色合いが描かれた立体パズル、すし店カウンターでのバーチャルすし体験など、盛りだくさんの内容で大人も子どもも楽しく学べる。吹き抜けのガラス越しに、1階水揚げ場の競りの様子も見学できる。入場無料。

塩釜市新浜町1-13-1
開/7:00~17:00
休/水曜
問/魚市場管理事務所 TEL022-364-6151

◆海街ライド

石巻市、東松島市、川町でスポーツタイプの自転車「クロスバイク」のレンタルが始まった。サン・ファンパークをはじめ6カ所に計50台前後を設置している。ヘルメット代・保険料込みで1日3000円。予約はWEBサイト「海街さんぽ」から。空きがあれば当日現地でも借りられる。推奨コースを掲載したマップを無料配布している。



写真提供/石巻圏観光推進機構

シニア世代には「JR野蒜駅発奥松島往復」「北上から神割崎方面」(写真)などのコースがお勧め。

営・休/レンタサイクル・ターミナルにより異なる。詳細はWEBサイト「海街さんぽ」で問/石巻圏観光推進機構 TEL0225-98-8285

◆仙台駅前自習室WEST



「二人でじっくり読書をしたい」「気兼ねなく勉強したい」といった人にお薦めの自習室。両隣の席

と区切られた「フリーデスク」、スペースが広めの「ひろびろフリーデスク」など一人で集中したいとくにびつたりの空間を用意。コンセントやフリーWiFiといった設備も充実している。フリードリンク付きで1時間一般470円だが、65歳以上は390円とリーズナブルに利用できる。3時間だと1120円とさらにお得だ。

仙台市青葉区本町1-2-5 第三志ら梅ビル3階
営/平日7:00~22:00 土・日曜、祝日10:00~21:00
休/月2回の臨時休あり
TEL022-797-4710

鉄道マニアの シネマレビュー

喜劇 急行列車

(1967年/監督:瀬川昌治/脚本:舟橋和郎)



発売元:東映ビデオ
販売元:東映
価格:2,800円(税別)
DVD発売中

今回は「列車シリーズ」の第1作「喜劇急行列車」と、豪華列車の客室内を余すことなく描いたアガサクリステイ原作の映画。列車内で起こったことを描いた2作品をお届けします。
(いきいきSUNクラブ会員/大澤武信)

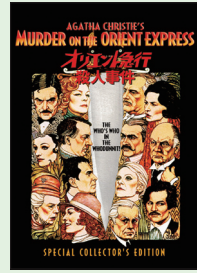
当時「走るホテル」と呼ばれた20系寝台客車が舞台。ペテラン車掌・青木吾一(渥美清)の周りで巻き起こる騒動を描いた喜劇ですが、マジで涙を誘うシーンもあります。長崎行き寝台特急「さくら」に乗務した青木は、かつてひそかに思いを寄せていた塚田鞠子を発見。動転し車内放送のマイクのスイッチを入れたまま

思いを話し始めてしまい車内は大爆笑。さらに5人組ホステスのコンパトメントから貴重品や下着が盗まれ、大騒動に。それも落ち着き、鞠子とのデートまで果たし無事に東京へ帰ることができた青木。しかし鞠子からの手紙を見つけた青木の妻きぬ子が夫の浮気を勘繰り、青木が乗務する寝台特急「富士」に乗り込

んで来たからさあ大変!渥美清のおかしきも人情味あふれる演技、佐久間良子、大原麗子らの名女優や小沢昭一、楠トシ工、左ト全といった喜劇俳優が脇を固めます。本作から始まった「列車シリーズ」は大当たりによって、3作品でおしまいとなりました。残念です。

オリエント急行殺人事件 ス・エディクション ズ・エディクション

(監督:シドニー・ルメット/脚本:ポール・テーン)



発売・販売元:NBCUniversal Entertainment
価格:1,429円(税別)
Copyright ©1974 by EMI Film Distributors, Ltd. All Rights Reserved. TM. (R) & Copyright ©2013 by Paramount Pictures. All Rights Reserved.

世界一豪華な列車「オリエント急行」内で起きた殺人事件を、名探偵ポワロ(アルバート・フィニー)が解決するもの。エルサレムで事件を解決しイギリスで起きた殺人事件の解決を依頼されたポワロは、急ぎよオリエント急行に乗り込みます。列車の中でアメリカの富豪ラチエットから警護の依頼を受けますが、あっさり断ってしまいま

その夜、雪崩で脱線し動けなくなった列車の中でラチエットが殺害されました。冒頭の5年前の事件が関係し、同じ寝台車に乗り合わせたのは12人。容疑者も限られる中、ポワロが一人一人事情を聞くと、全員にアリバイがありました。捜査が暗礁に乗り上げたかと思われた中、天性の直観と丹念な推理で事件の真相を暴き出しています。衝撃の真相を

前に苦悩します。優先すべきは真実なのか、それとも正義なのか。ラスト30分で自らの推理を披露し、犯人を突き止める手法は同じ1974年に公開された松本清張原作「砂の器」を思い起こさせます。88年にオリエント急行が日本の線路を走った時、青森駅のホームに停車中の客車に頼ずりし、駅員から追い払われたのは私です。